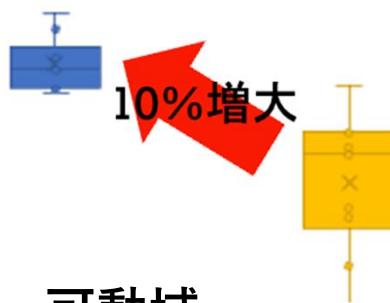


概要: 上肢を挙げた時でも下着や肌が露出しないセーラー服のデザイン

従来技術と問題点: 従来の制服は肩を直上まで上げる可動域がないため、大きく上まで上肢を挙上すると見頃が吊り上がり下着や肌が露出してしまう欠点がありました。

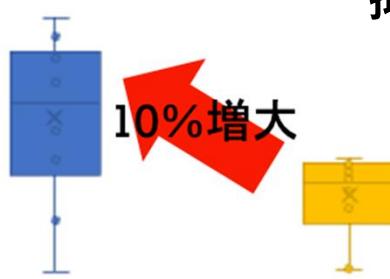
本研究成果の優位性: 「シルエット美の維持」と「動作時の可動性向上」を両立するマチ布の形状を特定し、複雑な構造や特殊素材に依存しないシンプルな工法を提案しました。



可動域
10%向上



可動域と
下垂時の収納量が
最大化するレンズ形状を特定



吊れ上がりを
抑制



下垂時に
目立たない

